



とうざん ゆう  
**東山の雄**

一関市立千厩中学校  
学校だより 第10号  
令和6年5月24日  
文責：菊池

【令和6年度生徒会スローガン】

きしょう  
**『輝笑』**

<設定理由>

前年度生徒会では「咲華」というスローガンを掲げ、活動をしてきました。このスローガンのもと「清く」「正しく」「美しく」の方針で、千中生が一つの華を咲かせるように協力し合い、一人ひとりの個性を咲かせる活動を行ってきました。

今年度、生徒会では千中生一人ひとりの力を存分に発揮できるようになることを目指して活動を行っていきます。

そこで、今年度は「輝笑」をスローガンに掲げ、活動を行っていきます。輝笑には「千厩中学校が今まで以上に輝き、ともに笑い合い、新しい力を目覚めさせる」という意味が込められています。

新しい力とは様々な物事に対して自分から意欲的に参加することができる「積極性」、「挑戦心」です。千厩中学校には体育祭や紅輝祭、クラスマッチなど笑い協力し合える行事がたくさんあります。そこで自分の新しい力を目覚めさせ取り組むことで、団結力や仲間意識が高まります。また、これまでのあいさつ運動や無言清掃などこれまでの活動を当たり前としてできるようにすることでこの千厩中学校がこれまで以上に輝き、新たな歴史をつくる第一歩を踏み出すことができると思います。

各方針や各委員会の活動を通して千厩中学校がより良い学校になるよう目指していきます。以上のことから本スローガンを提案します。



5月22日（水）の5・6校時に第1回生徒総会が開催され、本年度の活動方針が決定しました。

さて、総会では、たくさんの質問が出されたことにより、活動内容等がより具体的なもの、意味あるものとして理解されていました。提案への賛成意見も多く出され、自分たちの決意の表明であるとともに、執行部・専門委員長への励ましともなりました。なるほどと思う要望事項もあげられ、よく考えられているなと思いました。内容によっては、要望で終わらせずに、修正意見として協議してもらうことも必要かと思いました。

質問や意見・要望で質問席に立って発言した人は、全校生徒の半分はいたかと思います。200人以上の人前で話す機会はそれほど多くないので、発言した方々は良い経験をしたと思いますし、発言しようとした気概を称えたいと思います。

総会で承認された活動方針に沿って、生徒会活動を行うことで、千厩中学校が過ごしやすい学校になるよう期待しています。

## 自転車安全利用呼びかけを実施

5月23日(木)の登校時、生徒の皆さんを驚かせたり、緊張させたりしましたが、千厩警察署の警察官5名、交通指導隊員2名そして生徒会執行部の代表(千葉日葵さん、熊谷大志くん)と生活委員会の代表(秋吉希美さん、千葉裕泉さん)の4名が校舎前に立ち、標記活動が行われました。これは「自転車月間」に合わせて、全国各地で行われている活動で、特にヘルメットの着用について強く呼びかけていました。



岩手県内の4月の自転車事故は24件、うち2件が死亡事故だったとのこと。その死亡事故2件ともにヘルメットは非着用とのことでした。着用していれば最悪の結果は避けられたらろうとのことでした。



当たり前ですが、本校の生徒は全員きちんと着用しており、警察の方々も感心していました。

「自分の身は自分で守る」ためにどうすればよいか考えて生活を送りたいものです。

## 知って、伝えていかなければならない

5月17日(金)に、1年生は「東日本大震災について学び、生命の大切さと命を守る行動のあり方について考えを深める。」をねらいとして、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館(旧気仙沼向洋高校)を訪問し、復興教育校外学習(被災地学習)を行ってきました。



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館は、将来にわたり震災の記憶と教訓を伝え、警鐘を鳴らし続ける「目に見える証」として活用し、気仙沼市が目指す「津波死ゼロのまちづくり」に寄与することを目的としています。

さて、会場到着後、生徒は4グループ(各組1班~4班)に分かれて、それぞれに語り部さんの先導のもと、被災校舎内をめぐり、適宜説明を受けました。



お昼ご飯は、近くの岩井崎に移動して食べました。岩井崎でのお昼を食べた後は、初夏の海岸で思い思いに過ごしました。東日本大震災の被害についてその目で確かめ、生命の尊さを感じた1日となりました。

## 【大会結果】

○令和6年度岩手県道場剣道大会(記録の訂正)

<個人戦> 85名出場

佐藤柚貴 1回戦勝って、2回戦惜敗